

安全で快適な入院生活を過ごしていただくために

(転倒・転落防止対策)

様及びご家族の方へ

入院生活をする病院の環境は、それまで住み慣れた家庭とは異なります。その生活環境の変化に、病気やけがによる体力や運動機能の低下が加わり、思いもかけない転倒・転落事故が起こることが少なくありません。

高齢者の方は特に注意が必要です。突然の環境の変化と体力低下に、加齢に伴う認識力や運動能力の低下が加わって、結果として深刻な事態を招く恐れがあります。大変危険な場合は、様々な介護用具を使用させていただくこともありますので、ご理解をお願いいたします。

私たちの病院では、生活環境を整備しながら転倒・転落の予防に十分に注意して、安全で快適な入院生活を送っていただくように努力しておりますが、さらに安全を高めるためには、ご家族のご協力が欠かせませんので、よろしくをお願いいたします。

当院は、入院時に患者様の転倒・転落の危険度を把握するために質問をさせていただいております。その評価を踏まえて、患者様とともに転倒・転落の予防に取り組みたいと思います。ご協力をお願いいたします。

ご心配なことがありましたら遠慮なく看護師や担当医にご相談ください。

産業医科大学病院





転倒・転落危険度の評価（ ）

様の転倒・転落の危険性について、機能障害の程度や活動状況、そして治療される内容から評価させていただきました。

危険度 転倒・転落の可能性のある状態

と判断させていただきました。

裏面にある転倒・転落を防ぐためのお願いを再確認下さい。

産業医科大学病院
()病棟

転倒・転落を防ぐためのお願い

ベッドから降りる時、トイレ・浴室、起立時、方向転換時は注意しましょう。
ゆっくりと、つかまって、一呼吸おいてから動きましょう。
遠慮なく看護師を呼んでください。

メガネなど、愛用のものをお持ちください。

履物は、かかとが有るもの、特にゴム底の運動靴が転倒に予防に有効です。

寝巻きやパジャマの裾は、体のあった長さのものをご使用ください。

ベッドからは注意して降りてください。1番低い高さに設置されているかご確認ください。

廊下やトイレなどで床がぬれているとき、床に水をこぼしたときは職員をお呼びください。

車椅子をご使用の方は、動く前に車椅子のストッパーをご確認ください。

筋力が落ちている方は、筋力アップを目的とした歩行訓練が有効です。

トイレに移動中の転倒が多く報告されています。必要な方は、トイレなどへの移動時は看護師が介助や付添いをいたします。遠慮せずにナースコールをしてください。

ベッドから降りる時、オーバーテーブルに手を置くと移動するので危険です。

転倒・転落したり、又、それを目撃したらすぐに看護師にご連絡ください。

その他、わからないことがありましたら、どんな事でも看護師にご相談してください。



転倒・転落危険度の評価（ ）

様の転倒・転落の危険性について、機能障害の程度や活動状況、そして治療される内容から評価させていただきました。

危険度 転倒・転落をおこしやすい状態

と判断させていただきました。

裏面にある転倒・転落を防ぐためのお願いを再確認下さい。

入浴・トイレ、検査などで移動する場合は、必ず看護師が付き添いますので必要な場合は教えてください。

転倒・転落を防ぐためのお願い

ベッドから降りる時、トイレ・浴室、起立時、方向転換時は注意しましょう。
ゆっくりと、つかまって、一呼吸おいてから動きましょう。
遠慮なく看護師を呼んでください。

メガネなど、愛用のものをお持ちください。

履物は、かかとが有るもの、特にゴム底の運動靴が転倒に予防に有効です。

寝巻きやパジャマの裾は、体のあった長さのものをご使用ください。

ベッドからは注意して降りてください。1番低い高さに設置されているかご確認ください。

廊下やトイレなどで床がぬれているとき、床に水をこぼしたときは職員をお呼びください。

車椅子をご使用の方は、動く前に車椅子のストッパーをご確認ください。

筋力が落ちている方は、筋力アップを目的とした歩行訓練が有効です。

トイレに移動中の転倒が多く報告されています。必要な方は、トイレなどへの移動時は看護師が介助や付添いをいたします。遠慮せずにナースコールをしてください。

ベッドから降りる時、オーバーテーブルに手を置くと移動するので危険です。

転倒・転落したり、又、それを目撃したらすぐに看護師にご連絡ください。

その他、わからないことがありましたら、どんな事でも看護師にご相談してください。



転倒・転落危険度の評価（ ）

様の転倒・転落の危険性について、機能障害の程度や活動状況、そして治療される内容から評価させていただきました。

危険度 転倒・転落をよく起こす恐れがある状態

と判断させていただきました。

裏面にある転倒・転落を防ぐためのお願いを再確認下さい。

入浴・トイレ、検査などで移動する場合は、必ず看護師が付き添いますので必要な場合は教えてください。

危険防止のために、最小限の抑制が必要になる場合があります

産業医科大学病院
()病棟

転倒・転落を防ぐためのお願い

ベッドから降りる時、トイレ・浴室、起立時、方向転換時は注意しましょう。

ゆっくりと、つかまって、一呼吸おいてから動きましょう。

遠慮なく看護師を呼んでください。

メガネなど、愛用のものをお持ちください。

履物は、かかとが有るもの、特にゴム底の運動靴が転倒に予防に有効です。

寝巻きやパジャマの裾は、体のあった長さのものをご使用ください。

ベッドからは注意して降りてください。1番低い高さに設置されているかご確認ください。

廊下やトイレなどで床がぬれているとき、床に水をこぼしたときは職員をお呼びください。

車椅子をご使用の方は、動く前に車椅子のストッパーをご確認ください。

筋力が落ちている方は、筋力アップを目的とした歩行訓練が有効です。

トイレに移動中の転倒が多く報告されています。必要な方は、トイレなどへの移動時は看護師が介助や付添いをいたします。遠慮せずにナースコールをしてください。

ベッドから降りる時、オーバーテーブルに手を置くと移動するので危険です。

転倒・転落したり、又、それを目撃したらすぐに看護師にご連絡ください。

その他、わからないことがありましたら、どんな事でも看護師にご相談してください。